



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）6月5日号 No. 1563

目次

■ ロシア極東開発省の概要と役割	1
■ 統計速報	6
2012年1～4月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2012年1～4月の日ロ貿易／7	
■ トピックス	8
東芝のロシア変圧器合弁設立手続きが完了／8	
横浜ゴムのロシア新タイヤ工場開所式／9	
粉体機器のホソカワミクロンがロシアに販社／9	
ソラーズいすゞ社の出資比率引き上げ／9	

ロシア極東開発省の概要と役割

はじめに

前回の速報では、ロシアのメドヴェージェフ新内閣の行政機構と人事についてお伝えした。新政府の体制のなかでも、極東連邦管区にかかわる部分は、本誌読者の関心がとりわけ大きいと予想される。そこで今号では、新設された極東開発省に関する情報を取りまとめてお伝えする。

極東開発省の概要

前回の速報で報じたとおり、プーチン大統領が5月21日付で署名した大統領令「連邦執行権力機構の構成について」により、「極東開発省」を新たに設置することが打ち出された。また、この大統領令によれば、「ロシア連邦極東開発相は、極東連邦管区ロシア連邦大統領全権代表を兼務する」とされていた。実際、これまで極東管区の全権代表を務めてきたV. イシャエフ氏が、今後は極東開発相も兼務することになった。

大統領令によれば、極東開発省は、極東連邦管区の領域において、以下のような機能を果たすとされている。ロシア連邦政府によって承認された一覧表に掲載された国家プログラム、連邦特定プログラム（長期的なものも含む）の実現に向けた活動を調整する。（森林